

環境負荷化学物質使用調査書

発行日	2005/12/27
文書番号	MSDS52-000-051104
会社名	春日電機株式会社
住所	東京都大田区東蒲田2-16-18
担当部署	品質管理部環境管理課
E-MAIL	k.noda@ekasuga.co.jp
TEL.	03-3733-6627
FAX.	03-3733-6638

承認	確認	作成
酒井	岸野	野田

拝啓 貴社益々御清栄の事とお喜び申し上げます。
弊社製品中の化学物質の調査・検討しました結果を、下記の通りご報告させていただきますので、御査収お願いします。

敬具

商品名 イオライザー#3000 スプレー

御社へ納入する該当部品について、下記書類に記載してある通り、RoHS指定含有物質が含有しています。又、下表の環境負荷物質に関し、内容の変更等が生じた場合は、詳細を報告します。

- ※ 記載データは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全を保証するものではありません。
- ※ ICP測定等のデータは、現在当社のイオライザーシリーズでは測定行っておりません。理由としまして、
- ① イオライザーは原料・構成部品メーカー様よりカドミウム、鉛、六価クロム、水銀、PBB(ポリ臭化ジフェニル)、PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)の含有量報告をいただいている為。
 - ② イオライザー#3000、#2000M原液の製造段階では上記物質が含まれることが無い為。
 - ③ 上記原液を希釈する工程にでも上記物質が含まれることが無い為。

【添付書類】

	書 類 名	文 書 番 号
①	製品構成物質データシート (イオライザー#3000スプレー本体)	MSDS46-04-051125
②	製品構成物質データシート (イオライザー#3000スプレー用梱包箱)	MSDS42-04-051125
③	環境負荷物質リスト	MSDS48-04-050715
④		
⑤		

製品構成物質データシート(成分表)

発行 2005年 11月 25日

文書番号	MSDS46-04-051125
部品名称	イオライザー
部品型式	#3000スプレー
部品重量(g)	366.98
備考(シリーズ製品名)	※ 添付の環境負荷物質リスト内の物質が混入していた場合は、本表に記載いたします。
	※ 1wt%=10000ppm

会社名	春日電機株式会社
住所	東京都大田区東蒲田2-16-18
担当部署	品質保証部環境管理課
担当者	野田 一大
E-MAIL	kudo@sekasuga.co.jp
TEL	03-3733-6627
FAX	03-3733-6638
★記載データは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全を保證するものではありません。	
責任者:	品質保証部環境管理課 酒井 好夫

イオライザー#3000スプレー

部材名	成分	成分中の含有率(Wt%)	CAS No.	製品中の含有量(mg)	製品中の含有率(Wt%)	含有目的	備考
缶	本体	鉄	7439-89-6	89,840.00	24.48	メッキ不純物	
		錫	7440-31-5				
		鉛	7439-92-1				
	塗料	-	-	-			
インキ	-	-	-				
バルブ	マウンテンカップ	鉄	7439-89-6	3,900.00	1.06	メッキ不純物	
		錫	7440-31-5				
		鉛	7439-92-1				
	塗料(マウンテンカップ)	-	-	-	10.00	0.00	
	ステム	ポリアセタール樹脂	-	24969-26-4	260.00	0.07	
		アンチモンその化合物	200ppm以下	-			
	パッキン	ニトリルポリマー	-	-	433.00	0.12	2箇所
	スプリング	ステンレス(SUS304)	-	-	73.00	0.02	
	ハウジング	ポリアセタール樹脂	-	24969-26-4	450.00	0.12	
		アンチモンその化合物	200ppm以下	-			
塗料(ハウジング)	-	-	-				
パイプ	ポリエチレン	-	9002-88-4	1,000.00	0.27		
ボタン	本体	ポリエチレン	-	9002-88-4	813.00	0.22	
	噴口	ポリアセタール樹脂	-	24969-26-4			
		アンチモンその化合物	200ppm以下	-			
キャップ	ポリエチレン	-	9002-88-4	5,230.00	1.43		
OPPシュリンクフィルム	ポリプロピレン	-	25895-47-0	973.10	0.27		
イオライザー#3000原液	エタノール	87.80	64-17-5	100,000.00	27.25		
	イソプロピルアルコール	10.00	67-63-0				
	メチルエチルケトン	1.65	78-93-3				
	界面活性剤	0.50	-				
スプレー噴射剤	LPG	プロパン	74-98-6	164,000.00	44.69		
		イソブタン	75-28-5				
		ノルマルブタン	106-97-8				
合計重量 (mg) (%)				366,982.10	100.00		

製品構成物質データシート(成分表)

発行 2005年 11月 25日

文番番号	MSDS42-04-051125
部品名称	梱包箱
部品型式	ネットイン缶420mL×12本用
部品重量(g)	383.90
備考(シリーズ製品名)	※ 添付の環境負荷物質リスト内の物質が混入していた場合は、本表に記載いたします。
	※ 1wt%=1000ppm

会社名	春日電機株式会社
住所	東京都大田区東蒲田2-16-18
担当部署	品質保証部環境管理課
担当者	野田 一大
E-MAIL	knoda@ekasuna.co.jp
TEL	03-3733-6627
FAX	03-3733-6638
<p>★記載データは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全を保証するものではありません。</p>	
責任者:	品質保証部環境管理課 酒井 好夫

梱包箱

番号	部材名	成分	成分中の含有率 (wt%)	CAS No.	製品中の含有量 (mg)	製品中の含有率 (wt%)	含有目的	備考
ダンボール	ライナ	紙	—	—	207,306.0	54.0		
		カドミウム及びその化合物	2.0ppm以下	—				
		6価クロム及びその化合物	2.0ppm以下	—				
		水銀及びその化合物	2.0ppm以下	—				
		鉛及びその化合物	3.0ppm	—				
	中芯	紙	—	—	165,077.0	43.0		
		カドミウム及びその化合物	2.0ppm以下	—				
		6価クロム及びその化合物	2.0ppm以下	—				
		水銀及びその化合物	2.0ppm以下	—				
	コーンスターチ	—	—	—	—	383.9		
インキ	—	—	—	—	383.9	1.0		
	カドミウム及びその化合物	2.0ppm以下	—					
	鉛及びその化合物	2.0ppm以下	—					
糊	—	—	—	—	383.9	1.0		
合計重量 (mg) (%)					383,900.0	100.0		

環境負荷物質リスト

会社名	春日電機株式会社
住所	東京都大田区東蒲田2-16-18
担当部署	品質管理部環境管理課
E-MAIL	k.noda@ckasuga.co.jp
TEL	03-3733-6627
FAX	03-3733-6638

文書番号	MSDS48-04-050715
発行日	2005年 7月 15日

承認	確認	作成
酒井	岸野	野田

分類	レベル	化学物質群		備考
		分類 No	名称	
金属（その合金を含む） 及び金属化合物	A	A05	カドミウム及びその化合物	RoHS対象物質
		A07	六価クロム化合物	RoHS対象物質
		A09	鉛及びその化合物	RoHS対象物質
		A10	水銀及びその化合物	RoHS対象物質
		A17	ビス（トリブチルスズ）=オキシド(TBTO)	
		A18	トリブチルスズ類(TBT類)、 トリフェニルスズ類(TPT類)	
	B	A01	アンチモン及びその化合物	
		A02	ヒ素及びその化合物	
		A03	ベリリウム及びその化合物	
		A04	ビスマス及びその化合物	
		A11	ニッケル及びその化合物	合金（例：ステンレス）を除く。
		A13	セレン及びその化合物	
	ハロゲン系有機化合物	A	B02	ポリ臭化ビフェニル類（PBB類）
B03			ポリ臭化ジフェニルエーテル類（PBDE類）	RoHS対象物質
B05			ポリ塩化ビフェニル類（PCB類）	
B06			ポリ塩化ナフタレン（塩素数が3以上）	
B09			短鎖型塩化パラフィン	対象は、炭素鎖長：10～13
B		B08	臭素系難燃剤	PBB類、PBDE類を除く臭素系難燃剤
その他	A	C01	アスベスト類	
		C02	アゾ染料・顔料	特定アミンを形成するアゾ染料・顔料で、対象用途は直接かつ長時間、皮膚に接触する部位に限る。
		C04	オゾン層破壊物質	モントリオール議定書対象物質
		C06	放射性物質	
	B	C05	フタル酸エステル類	EUリスクアセスメントを実施している次の五種の化学物質に限る。
	貴金属類	B	D01	銅及びその化合物
D02			金及びその化合物	
D03			パラジウム及びその化合物	
D04			銀及びその化合物	

製品安全データシート

1. 製造者情報

製品名 イオライザー#3000スプレー
 会社 春日電機株式会社
 住所 東京都大田区東蒲田 2-16-18
 担当部門 品質保証部環境管理課
 担当者 野田一大
 TEL / FAX 番号 03-3733-6620 / 03-3733-6096
 整理番号 MSDS15-08-050910
 作成日 2005年9月10日

承認	確認	作成
酒井	岸野	野田

2. 組成成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

	CAS No.	国連番号及び 国連分類	官報告示 整理番号	含有量 wt%
メタノール	67-56-1	1230、等級 3 副次危険 6.1	(2)-201	—
エタノール	64-17-5	1170、等級 3	(2)-202	33.26
イソプロピルアルコール	67-63-0	1219、等級 3	(2)-207	3.79
メチルエチルケトン	78-93-3	1760、等級 3 副次危険 6.1	(2)-542	0.63
界面活性剤*1	非該当	非該当	非該当	0.19
脱臭精製 LPG*2	—	1075、等級 2.1	(2)-3	62.12

*1 界面活性剤は脂肪酸とジエタノールアミンによる縮合生成物

*2 噴射剤として使用

3. 危険性有害性の要約

最重要危険有害性

有害性

蒸気を吸引すると有害。皮膚、眼、気道を刺激する吸収すると軽い麻酔作用がある。

環境影響

データなし

物理的及び化学的危険性

ガス及び液体は容易に引火する。

特定の危険有害性

データなし

主要な徴候分類の名称
(分類基準は日本方式)

高圧ガス、引火性液体

危険性

高圧ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。

燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

非常に引火しやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

4. 応急処置

眼に入った場合

直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

凍傷の恐れがあるので、汚染された衣服や靴を脱がせ、付着部を大量の水(温水)で石鹸を用いて洗う。症状がある場合は、医師の手当てを受ける。

吸入した場合

意識がある場合は吐かせ、直ちに新鮮な空気のある場所へ運び、安静にさせ、医師の手当てを受ける。但し被災者に意識がない場合口から何も与えてはならない

飲み込んだ場合

意識がある場合は吐かせ、医師の手当てを受ける。但し被災者に意識がない場合口から何も与えてはならない

5. 火災時の処置

消火剤

噴霧水、粉末(ドライケミカル) 消化剤、二酸化炭素、乾燥砂

消火要領

消火活動は可能な限り風上より行う。

容器周辺が火災の際は、移動可能な容器を安全な場所に移す。又、移動不可能な容器は容器に水をかけて冷却する。

使ってはならない消火剤

泡消火器(アルコールは水溶性で消泡作用がある) 水(直接の棒状水消火)

消火を行う者の保護

保護マスク、耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
風下で作業をしない。
- 環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 除去方法： 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- 二次災害の防止策： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
付近の火気を止める。
付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

使用時は適切な保護具を着用し、炎や火気の近くで使用しない。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触をさける。火気を使用している室内で大量に使用しない。使用後は容器を密封し、漏れ、あふれ、飛散しないようにし、また、みだりに蒸気を発生させない。静電気対策のため、作業衣、作業靴は導電性のものを用い、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増)を使用する。火の中に入れてない。

保管

日光の直射を避ける。風通しの良いところに保管する。火気、熱源、還元性物質および強酸化剤から遠ざけて保管する。40℃以上のところで保管しないこと。水回りや湿度の高いところに保管すると、容器腐食して破裂の恐れがあるので保管場所に注意すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	取扱い設備は防爆型を使用する。排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。使用中は火気厳禁の措置をする。洗顔施設を設置する。
許容濃度：	200ppm
管理濃度：	200ppm
呼吸器用の保護具：	密閉された場所では送気マスクを着用する。 スプレー作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具：	有機溶剤が浸透しない手袋を着用する。
目の保護具：	取扱いには保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	適切な作業服、保護衣、保護長靴
適切な衛生対策：	適切な作業服、保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 液体（スプレー缶）

色 微茶色透明

臭い アルコール臭

pH 該当せず

物理的状态が変化する

特定の温度/濃度範囲：

沸点： データなし(°C)

沸騰範囲： データなし(°C)

融点： データなし(°C)

分解温度： データなし(°C)

引火点： データなし(°C) 噴射剤 LPG および溶媒は引火性である。

発火点： データなし(°C)

爆発特性： データなし

爆発限界 下限： データなし

上限： データなし

蒸気圧： データなし (Pa、 °C)

蒸気密度： データなし

密度： データなし

溶解性： データなし

溶媒に対する

溶解性溶媒の溶解性： データなし

その他のデータ： 特になし

10. 安定性及び反応性

安定性：	安定。高熱や強酸化剤と反応して火災や爆発の危険がある。
反応性：	加熱すると分解し、一酸化炭素、ホルムアルデヒドを生じる。
避けるべき条件：	酸化剤・還元剤・強酸等と接すると激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

11. 有害性情報

皮膚腐食性：	皮膚の乾燥、脱脂効果があるため皮膚炎を起こすことがある。
刺激性(皮膚、眼)：	皮膚1刺激作用がある眼;刺激性が有り結膜炎を生じることが有る。
急性毒性：	データなし
局所効果：	データなし
感作性：	データなし
慢性毒性・長期毒性：	データなし
がん原性：	データなし
変異原性：	データなし
催奇形性：	データなし
生殖毒性：	データなし
その他：	データなし

12. 環境影響情報

移動性：	物理化学的性質からみて大気、水系、土壤環境に移動しうる。
残留性/分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
生態毒性魚毒性：	データなし
その他：	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。

13. 廃棄上の注意

焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。小量の場合はおがくず、ウエス等に吸収させて開放型のアフター・バーナーとスクラバー付きの化学バーナーで焼却する。

これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。

容器を廃棄する場合は、中身を使い切ってから、火気のない戸外でガスがなくなるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから破棄する。

14. 輸送上の注意

注意事項

- ・ 取扱い及び保管上の注意事項に従うこと。
- ・ 運搬に際しては容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- ・ 運搬に際しては、容器を 40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。

国内規則

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送：現在のエアゾール製品は、航空法で輸送できないものになっており、注意すること。

国連分類：等級 2.1 (引火性高圧ガス)

国連番号：1950(引火性エアゾール)

15. 適用法令

労働安全衛生法

- ・ MSDS 対象物質
- ・ 施行令別表第 1 危険物 (引火性のも、可燃性ガス)

高圧ガス保安法

一般高圧ガス保安規則第 1 章第 2 条 (可燃性ガス)

一般高圧ガス保安規則第 7 章 移動

第 69 条 (移動の基準)

第 70 条 (車両に固定した容器による移動の基準)

第 71 条 (その他の移動の基準)

消防法

第 2 条危険物第 4 類アルコール類 (400 ℓ)

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 3 (引火性液体類、高圧ガス類)

港則法

施行規則第 12 条危険物告示 (引火性液体類、高圧ガス類)

船舶安全法

危規則：第 3 条危険物 (引火性液体類、高圧ガス類)

大気汚染防止法

施行令第 10 条特定物質

海洋汚染防止法

施行令別表第 1 有害液体物質 (D 類)

16. その他情報

主な引用文献

化学品安全管理データブック Ver.2.0」長瀬産業㈱/化学工業日報社

各原料のMSDS（原料メーカー各社）

「法令データ提供システム」電子政府の総合窓口(e-Gov)のホームページ

お願い：製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全を保証するものではありません。

また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を講じた上での取扱いが必要です。

すべての化学品については、未知の有害性があり得ます。取扱いには細心の注意が必要です。

本品の適正なる使用については、使用者各位の責任に於いて行って下さい。